

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 11 日

評価対象事業	教育	-	20	文化財公開活用事業				☐ 法定受託事務
所管課	教育文化財部 文化財課				評価者	文化財課担当課長 板場 直明		
一般	会計	款	55	項	20	目	10	
総合計画上の位置付け	分野名	歴史環境			施策の方針名		文化財の保護	

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市内に所在する文化財を公開し、文化財に魅力を発信することで、郷土への理解及び文化財への愛着を深める。
効果	郷土への理解及び文化財への愛着を深めることにより、文化財を確実に後世へ伝えていく。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	発掘調査速報展・遺跡調査研究発表会・現地説明会・パネル展の開催、リーフレット・出土品データベース・報告書PDF公開、郷土芸能大会の開催	発掘調査速報展・遺跡調査研究発表会・現地説明会・パネル展の開催、リーフレット・出土品データベース・報告書PDF公開、郷土芸能大会の開催	発掘調査速報展・遺跡調査研究発表会・現地説明会・パネル展の開催、リーフレット・出土品データベース・報告書PDF公開、郷土芸能大会の開催
予算額（千円）	3,344	3,217	
国県支出金	190	1,693	
地方債			
その他	30	30	
一般財源	3,124	1,494	0
当初人員配置数	15.0	17.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	発掘調査速報展・遺跡調査研究発表会・現地説明会・パネル展の開催。リーフレット、出土品データベース、報告書PDF公開。郷土芸能大会の開催		
決算額（千円）	2,118		
国県支出金	187		
地方債			
その他			
一般財源	1,931	0	0
人員配置実績数	15.0	0.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	遺跡調査研究発表会の開催数	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	遺跡調査研究発表会を開催した。				46		
活2	指標名	現地説明会の開催数	回	1	↗	4		
	実績につながる活動	現地説明会を開催した。				0		
活3	指標名	発掘調査速報展の開催数	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	発掘調査速報展を開催した。				0		
活4	指標名	郷土芸能大会の開催数	回	1	⇒	1		
	実績につながる活動	郷土芸能大会を開催した。				992		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	市民団体等と連携し、文化財を活用した行事を開催する等、市内に所在する文化財の価値と魅力を広く発信することができた。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果 指標No （最大3つ）
					実績			
成1	遺跡調査研究発表会、遺跡調査現地説明会	人	475	↗	1112			1 2
成2	発掘調査速報展の来場者	人	2001	↗	2393			3
成3	郷土芸能大会等の来場者数	人	318	↘	226			4

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	成果指標1について、公開活用を設け、多くの来場者を得たことについて、高水準を維持している。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	発掘調査現地説明会を積極的に開催したことにより、より多くの来場者数を得ることができ、文化財保護に係る意識の醸成に寄与した。文化財の公開活用をのさる機会を確保するとともに、効果的な周知、広報を進めていく必要がある。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	■ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	■ 十分に出ている	□ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
公平性	受益者負担		□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない

		評価実施年度の方向性	⇒	評価実施翌年度以降の方向性	
方向性	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☐ ① 事業内容は現状通りとする ☒ ② 事業内容は見直す → ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☐ ① 予算規模は現状維持とする ☒ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		一部解決	さらなる効果的な広報及び周知方法について検討が必要。	
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	計画以上の成果を得られた。研究会や現地説明会等の参加者は増加傾向にあり、さらなる広報、周知により、事業拡大が見込める。			
					上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	遺跡調査研究発表会・現地説明会等の開催実績（参加人数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	5	2	3	0	3	1	0	0	0
	1112	243	281	0	736	42	0	0	0

比較事項	発掘調査に係る展覧会等の開催実績（来場者数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1	0	1	0	1	1	0	0	0
	2,393	0	4,593	0	5,085	未詳	0	0	0

比較事項	郷土芸能大会等の開催実績（来場者数）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1	0	1	1	2	1	0	0	1
	226	0	340	210	1,121	300	0	0	300

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	遺跡の発表会・現地説明会は他自治体に比して、実績回数及び参加人数も多い。それに対して展覧会の入館者数が少数である。郷土芸能大会は開催自治体と来場者数は大差ないと判断できる。いずれもさらなる広報と参加者数の増加に向けた取組が必要である
----------------------	--